

(広報誌第11号平成 27 年)

公益財団法人 言野山 保勝会

ご挨拶(公益財団法人)吉野山保勝会 会計理事 五條良知



平素は、吉野山の山桜の保護育成へのご支援と公益財団法人吉野山保勝会の活動へご尽力賜りますこと、ありがたく厚く御礼申し上げます。

全国各地に桜の名所といわれるところは数多くありますが、吉野山の山桜は、日本一のさくらとして古くから称されております。江戸時代の事典といわれる「大日本永代節用無尽蔵」には巻頭見開きに2種類の彩色版画が掲載されていたようで(金峯山寺蔵)、改訂出版されるごとにその版画は富士山と吉野山の桜が前項、次項交互に掲載されていたと聞きます。いにしえの昔、山といえば富士山、花といえば吉野山の山桜といわれていた事が伺えます。

また、日本人が愛してやまない「さくら」、日本人のこころともいわれる「さくら」は、現在日本中に多く植栽されている「ソメイヨシノ」ではなく、この「山桜」など日本自生の桜をさすといわれております。

その日本一の吉野山の山桜は、金峯山寺蔵王堂のご本尊金剛蔵王権現さまの御神木として尊ばれ、蔵王権現さまにお供え され守られてきたのであります。この山桜を育み、守り、伝えていく事が、日本の風土にあった古き良き日本のこころを伝 えゆく事であると思います。

皆様にも精神と文化の継承、山桜の保護育成に続けてのご尽力を賜りたくお願いを申し上げご挨拶とさせて頂きます。

合掌

新たに保勝会が「日ノ雄桜苗育成園」を作りました

モノレールとモノレール倉庫と 作業小屋を作りました。



写真1作業小屋・モノレール倉庫



写真 2 桜苗育成園



<u>桜基金に寄付を頂いた方々(順不同)</u> 皆様ありがとうございました

金峯山寺様・大和ハウス工業株式会社様・国際ソロプチミスト奈良一あすか様山村組様・近畿大学付属小学校様・大阪マルビル様・ソロプチミスト奈良一万葉様・柿の葉寿司ヤマト様・中嶌實男様・杉原奈良恵様・吉川みつ子様・高志慈海様・吉野山旅館組合様・HITOFUSHI様・牛木裕子様・ノリトミカズアキ様・賛助会員様

写真3 桜苗育成園

<u>大和ハウス工業株式会社様が吉野山の写真集第2号「さくら」の発行をしていただきまし</u>た。

少しですが予備がありますので、必要な方は保勝会事務所まで取りに来て下さい。



公益財団法人 吉野山保勝会 〒 639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430

TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshoukai@cap.ocn.ne.jp

URL: http://www.hoshoukai.yoshino.jp 発行: (公財) 吉野山保勝会 総務部